



広報



市の鳥・シジュウカラ



FUSSA

平成23年(2011年)

3月1日 No. 826

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

▼福生市3月の主なイベント▼

5日(土)	ふっさ環境フォーラム
13日(日)	音楽のまちづくりコンサート
20日(日)	まちづくり景観フォーラム
25日(金)～	ふっさ桜まつり

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面市の計画(案)への市民意見の概要と市の考え方について 3面消防少年団員募集 4面桜まつりパレード参加団体募集
5面減免世帯に指定収集袋を交付します 6面景観フォーラム開催 7面児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート

福生ドッグ始動!!

平成23年、福生に新たなご当地グルメが誕生しました。
その名も「福生ドッグ」。ぜひ、ご賞味ください!



問合せ
商工会 ☎551・2927
地域振興課産業振興係 ☎551・1699



福生ドッグ認定基準

1. 福生らしさを感じられるものでなければならない。
2. 素材を活かしたオリジナルなものでなければならない。
3. 美味しく、安全、安心なものでなければならない。
4. 大多摩ハム・福生ハムが製造する長さ16cm×太さ23mmのソーセージを使用しなければならない。また、パンはこだわりをもったものを使用し、切れ目を横に入れなければならない。
5. 福生のまちのホットドッグとして、みんなから愛されるものでなければならない。

福生ドッグが買えるお店はここだ!

店舗名	住所	電話番号	定休日	価格	使用ソーセージ
シュトウベン・オータマ	福生785	551・1325	火曜日	483円	大多摩ハム
クラウドナインベーカリー	福生798	530・3073	水曜日	300円 350円	福生ハム 大多摩ハム
ブレッダガーデン	福生1046	553・7234	日曜日	280円	福生ハム
Bread kobayashi	志茂202	539・1631	木曜日、第3水曜日	420円	大多摩ハム
ブランジェリーレヴ	本町75	551・7273	土・日曜日	250円	福生ハム
パン工房 プリマベラ	南田園1-14-3	551・9477	日曜日	300円	福生ハム
ブーランジェリーレコルテ	熊川975-1	551・7624	日曜日、第2・4月曜日	350円 420円	福生ハム 大多摩ハム
小料理ひとよ	本町23	530・7959	月曜日	450円	大多摩ハム
3.14パール	本町105	552・4314	月曜日	380円	福生ハム
WLF	本町112	519・7010	日・月曜日	480円	福生ハム

★福生ドッグ認定店舗募集!

新規認定店舗を大募集中です。ご質問・お問い合わせは商工会 ☎551・2927まで

生地にもソースにも野菜をたっぷり、仕上げにチーズを焼きました。



SPコード専用読取装置を使うことで、コードに記録されている文字情報を音声で聞くことができます。問合せ秘書広報課広報広聴係 ☎551・1568

市内にハム製造工場があることは、地域としても珍しく、米軍横田基地が置かれたことも功を奏したのか、1949(昭和24)年連合軍最高司令官総司令部(略称:GHQ)は、大多摩ハムが衛生も品質も欧米の水準であることを評価して、日本に駐留する外国人やその家族のためにハム・ソーセージを供給することを許可しました。特に福生・横田基地には、このソーセージをいたく気に入った司令官がいて、「ホットドッグ大佐」と呼ばれていたとか、いないとか…
何はともあれ、福生はアメリカの風をいち早く感じられる街でした。そんな福生の街から、新しく生まれたのが「Fussa Dog」です。

パン工房 プリマベラ

やわらかさにこだわったパンに特製トマトソースをはさみました!!

ブーランジェリーレコルテ

自家製キムチソースと竹炭雑穀パンで旨・辛が調和した福生ドッグ。

小料理ひとよ

「新和食感覚」ドッグ。ねぎ味噌に大葉のアクセント新コラボをぜひ!

3.14パール

たっぷりキャベツとホワイト&ミートソースのイタリアン風ドッグ。

WLF

見た目も味もインパクトがある福生ドッグ。ビールが欲しくなる!

全力投球



福生市長 加藤育男

福生アマチュア無線クラブの訪問をうけて

家族の絆

今年も卯年です。そして、21世紀になってちょうど10年目の年。ぜひ、「ぴよんぴよん跳ねる飛躍の年」にしたいと思っています。

先日、横田基地のフェザー司令官と市内の飲食店で懇談した折、「家族」の話になり、司令官が、「自分が空軍に身を置いていながらこそ、妻・子ども・親の存在がいかに大切か」を熱く語られたことが、印象に残りました。

我が国に目を転じると、近年の読売新聞の世論調査では、「家族の絆が弱まった」と感じている方が89%もいる一方、「家族の絆やまとまりを大切にしたい」と思っている方はほぼ全員の98%になります。家族の心がけとして、「できるだけ会話や意思疎通を図る」が69%、「一緒に食事をする」が62%だそうです。

家庭は、夫婦や子どもにとって安心して生活が送れる場であり、親子が仲良く暮らせる場所です。ですから、どこの国でも、人間にとって「心のよりどころ」であり、「一番大切なもの」と言えると思います。

グローバル化、情報化、多様化がめまぐるしく変化している時代だからこそ、家族の絆を大切にしたいものです。